

持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	関東農政局	
							基準年 令和元年度	目標年 令和4年度	達成率			
埼玉県	狭山市 入間市 所沢市	狭山Single Origin Tea 普及促進協議会	茶	令和2年度	開発した新商品を1以上販売開始する	3	3	0	3	100.0% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・消費者・実需者ニーズ等の把握</li> <li>・実需者等と連携した商品開発</li> <li>・消費者等の理解促進</li> <li>・消費者に向けたコト体験の展開</li> </ul>	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見  シングルオリジンティを使ったティーバッグの新商品を開発し、国内外で販路を拡大することができ、成果目標を達成した。
					新たな販路を1以上拡大する	5	5	0	5	100.0% 達成		
東京都	港区	日本茶輸出促進協議会	茶	令和2年度	相手国のMRL基準をクリアする茶園面積又は出荷量の全事業実施面積又は事業体主体における総出荷量に占める割合を直近値より5ポイント増加	59	5	54	68	280.0% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・栽培実証ほの設置</li> <li>・課題等解決のための調査・分析</li> <li>・実需者等と連携した商品開発</li> </ul>	栽培管理をしっかりと行うことでMRL基準をクリアする茶園面積に関する成果目標を達成した。また、生分解性ティーバッグを開発し、新商品に関する成果目標を達成した。
					開発した新商品を1以上販売開始する	1	1	0	1	100.0% 達成		
静岡県	静岡市	公益社団法人 静岡県茶業会議所	茶	令和2年度	開発した新商品を1以上販売開始する	4	4	0	5	125.0% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・消費者・実需者ニーズ等の把握</li> <li>・実需者等と連携した商品開発</li> <li>・製造・加工技術の確立</li> </ul>	和紅茶を使ったティーバッグの新商品を開発し、国内で販路を拡大することができ、成果目標を達成した。
					新たな販路を1以上拡大する	1	1	0	5	500.0% 達成		
静岡県	牧之原市	ハイナン農業協同組合	茶	令和2年度	産物1kg又は10aあたり労働時間を最低でも直近値の2%以上低減(単位:時間/10a)	51.5	-2.6	54.1	44.3	376.9% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・農業機械等リース支援</li> </ul>	生産性向上に資する兼用型管理機等の機械をリースすることにより、10aあたり労働時間削減の成果目標を達成することが出来た。しかし、茶商の要望により製茶工程の蒸時間を増やしたことで、働き手の退職・新規採用により運転時間及びアイドリング時間が増えたことにより重油の使用量が増えたため、燃費等使用量削減の成果目標が達成できなかった。そのため、茶商の要望に沿った茶を製造しつつ、蒸時間を短縮するため柔らかい蒸しやすい生葉の摘採、働き手に対する研修の実施を盛り込んだ改善計画を求め、引き続き、目標達成に向け努力するよう指導する。
					農業機械等リース支援を実施する場合に、直近3年の平均値に比べて荒茶1kg当たり燃費等使用量を10%以上削減(単位:l/kg)	0.81	-0.1	0.91	0.88	30.0% 未達成		
長野県	長野市	長野県薬草産地づくり推進協議会	薬用作物 (トウモロコシ、ゲンパシヨウコ、クコ)	令和2年度	実施地区において、事業に取り組む薬用作物の合計の栽培面積を5%以上向上(単位:a)	39.5	3.9	35.6	61.2	656.4% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・栽培実証ほの設置</li> <li>・栽培マニュアルの作成</li> </ul>	栽培実証ほの設置により得た知見を基に栽培マニュアルを作成したことで、栽培面積、生産量が増加し、成果目標を達成した。
					実施地区において、事業に取り組む薬用作物の合計の生産量を5%以上向上(単位:t)	0.233	0.165	0.068	0.777	429.7% 達成		
東京都	東京都中央区 愛媛県西予市	国際テキスタイル交流協議会	繭・生糸	令和2年度	全出荷額又は全出荷量に占める、新商品の出荷額又は出荷量の割合を1パーセント以上確保(単位:%)	5	5	0	8.85	177.0% 達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・消費者・実需者ニーズ等の把握</li> <li>・消費者等の理解促進</li> <li>・消費者に向けたコト体験の展開</li> </ul>	実需者と連携した新商品が開発され、新規販路を拡大することができ、成果目標を達成した。
					新たな販路を1以上拡大する	9	3	6	15	300.0% 達成		
山梨県	富士吉田市	ふじやまシルクプロジェクト	繭・生糸	令和2年度	実施地区において、蚕の飼育に必要な桑の栽培面積を5%以上増加(単位:m <sup>2</sup> )	11,968	2000	9,968	10,584	30.8% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会の開催</li> <li>・栽培実証ほの設置</li> <li>・桑の新植</li> </ul>	普通繭と比較して湿度管理が重要である白繭の特性を考慮した飼育環境の実証を行ったことにより、飼育数量を増やすことができ、飼育数量の成果目標を達成した。しかし、産による食害で桑の栽培面積が減ってしまったことから、桑の栽培面積を増加させる成果目標を達成することが出来なかった。そのため、鳥獣害防止対策を適切に実施し、事業実施主体が負担できる経費を勘案して、「食害されてしまった箇所」に新たに桑を新植し栽培面積を増加させる「または「桑園を借りて栽培面積を増加させる」のいずれかにより栽培面積を増加させることを盛り込んだ改善計画を求め、引き続き、目標達成に向け努力するよう指導する。
					実施地区において、蚕の飼育数量を5%以上増加(品種 白繭)(単位:箱)	2.5	1.5	1	2.5	100.0% 達成		

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。